

次世代社会への転換

黒田インターナショナル

黒田 毅

はるかに高い生産性とコスト効率性を有する社会への転換は、新規エネルギーと共に、次世代社会の建設を可能とする。

これらは、Society 5.0 の真実であり、インダストリー4.0 また、ネクストソサエティの創造である。

これらはインターネットを基幹とするコミュニケーションインフラへの転換における新しい社会の基幹システムを共有し、IOT とビッグデータへの移行は、IT システムの活用における社会と生活への転換を実現する。

これらは19世紀における産業革命をはるかに凌駕する、生産性と効率性の向上における生活の向上を実現できるのである。

これらは明らかに社会システムの転換を必要とするのである。現状の企業の次世代転換はこれらへ収束することは可能である。

しかし現状からの社会インフラの整備は必ずこの基準で要求され、海外援助においてのこれに基準すべきである。

これらは先端性と計画における社会ビジョンを整備し、すべての産業の連携における政治プレゼンスにおける新しい社会整備を実現できる。

これらははるかに優れた生産性と効率性、コスト効率性の構築における社会システムとサイクルの転換を実現するのである。

これらは国策における次世代社会への転換を合意し、内需における国内産業の育成とともに、国家転換を行う。

これらは政治組織とシステム、軍においても等しく、IT システムのインフラ整備と共に、基準の転換における自己構築を行う。